

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス アビリティ豊中教室		
○保護者評価実施期間	2026年2月16日 ～ 2026年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	2026年2月16日 ～ 2026年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広さ。活動エリアと学習エリアに分かれて、のびのびと活動できる。	内容と時間帯により、活動場所を変えている。スケジュールを児童に伝え、場所や時間に合わせた態度や行動ができるように意識している。	活動内容が固定化されないよう、常にブラッシュアップして行く。
2	広いスペースを活かし、個々の身体能力や特性に合わせた運動プログラムを提供できている。	集団でのレクリエーションだけでなく、個別のアセスメントに基づいた運動課題を取り入れている。	外部講師の招聘や、新しい運動療育ツールの導入により、支援のバリエーションを増やす。
3	スタッフ間での情報共有が迅速で、子ども一人ひとりの変化に柔軟に対応できている。	支援終了後のミーティングを徹底し、その日の出来事や課題を	ケース会議の質を向上させ、長期的な視点での支援目標の精度

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	継続率が高いことから空きがでない。そのために新規の申し込みをお断りしている。	ニーズに対して供給が追いついていない。	近隣に店舗を増やすことを検討している。
2	広い空間での活動中、周囲の刺激に敏感な児童への配慮が、環境設定のみに頼りがちになる。	物理的な仕切りはあるが、音や視覚情報の遮断が完全ではなく、集中を維持するための人的支援にバラつきがある。	パーティションの増設やイヤーマフの活用など、ハード・ソフト両面で「落ち着ける空間」の質を向上させる。
3			